

## 特別支援学校うぐいすの杜学園開校セレモニー 教育長あいさつ

皆さん、こんにちは。教育長の斉木です。山梨県立特別支援学校うぐいすの杜学園の開校にあたり、ご挨拶申し上げます。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、新しい学校の幕開けを飾る開校式を盛大に実施できないことにつきましては、私自身も皆さんと同様、たいへん残念に思います。

さて本校は、平成28年、子どものこころのケアに係る総合拠点の整備基本構想が策定され、総合拠点内に病弱の特別支援学校を設置することが決まったところから歴史が始まります。以来、約4年にわたる準備期間を経て、ここ「山梨県子どもこころサポートプラザ」内に、山梨県立特別支援学校うぐいすの杜学園として開校する運びとなりました。

本校は、県内に初めて設置された児童心理治療施設「山梨県子ども心理治療センターうぐいすの杜」に入所・通所する小学生や中学生が学習する教育機関です。虐待やいじめ、不登校など様々な環境の中、心のケアが必要な子どもたちが心理治療を受けながら、この、うぐいすの杜学園で、一人一人のニーズに応じた学習を通して、将来社会で豊かに生活していくための力を育てていくことができるものと期待しております。うぐいすの杜学園での学びを通して、子どもたちが、自分に自信をもち、学ぶことの楽しさ、わかることの喜び、生きることへの希望をもてるようになってほしいと心から願うものであります。

また本校には、子どもこころサポートプラザ内にある特別支援学校という大きな特徴があります。その特徴を最大限生かし、プラザ内の各関係機関との密接な連携により、医療、心理、福祉、教育が一体となった取組を実践することで、子どもたちの心のケアを総合的に行うことが期待されます。うぐいすの杜学園における教育の取組が、小学校や中学校などで学ぶ、心のケアが必要な子どもたちの教育の参考となるよう本校の教育の成果を県内外に広く発信してください。

教職員の皆さん、健康にはくれぐれも留意され、新しい学校づくりにそれぞれの専門性を発揮して取り組んでください。昨年度、事務局で手塚校長を中心に準備を進め、ここに先生方が揃い、これから子どもたちを迎え、学校生活が始まります。学校というのは不思議なもので、先生も子どもも数年ですっかり入れ替わるのに、学校の雰囲気はいつまでも変わらず受け継がれていきます。先生方におかれましては、本校の基礎を築くと同時に、本校の校風を自分たちが作り上げていくのだという使命感をもって頑張してほしいと思います。以上、簡単ではありますが、特別支援学校うぐいすの杜学園の開校にあたっての挨拶といたします。